

広げよう  
2000万署名

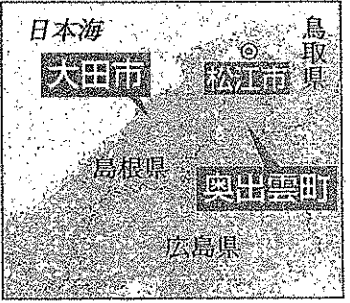
# 「今の政治はおかしい」 「子や孫の代が心配」

「国民連合政府を実現して戦争法を廃止しよう。参院選では自民、公明に審判を」。鳥根県で総がかり行動実行委員会

## 鳥根 戦争法廃止の願い次つぎ



国民連合政府の実現で戦争法廃止をと、署名を呼びかける岩本さん＝10月下旬、松江市



松江市の竹矢支部の岩本晃司支部長は10月下旬、町内会役員ら「しんぶん赤旗」読者に集金を兼ねて訪問。「衆参で強行可決され、国民も『いかげんにしろ』と怒っています。憲法学者も、元最高裁判官も憲法違反だと言っています。野党間には政策の違いはありますが、いったん横に置いて戦争法を廃止する国民

連合政府を実現し、立憲主義・民主主義を取り戻しましょう」と署名を訴え。この日の行動で、40人から署名が寄せられました。大坂栄次さん(70代)は「安倍首相はあまりにも右寄りすぎる。戦前に返るよう得心を痛めている。野党が一緒になる国民連合政府の提案には賛成です」と激励。町内会役員の男性も「孫や子の代に影響が出るのではと心配している。(戦争法は)反対です」と危機感を表明しました。

大田市の鳥井支部は1日、荒木健男支部長ら3人と大西修市議が2組で、静間町和江漁港で行動しました。市議会が9月、全国の市町村議会で初めて、戦争法の撤廃を求める意見書を可決したことを全戸に知らせ、訴えました。元自民党後援会長の男性は「共産党に共鳴する人が多くなったなあ」と署名。道で出会った人にも署名を呼びかけると、「しっかりやって。今の政治はおかしい」「いいことだ。戦争中は勉強できなかった」と激励され、全員が署名してくれました。

自民党国会議員出身地(雲南市)の隣の奥出雲町支部は9日、山根里美副支部長が署名を呼びかけました。15人が署名し、「しんぶん赤旗」の読者も2人増えました。「兵器をつくるため、家の釜や寺の鐘を軍に出した」と当時を振り返った女性(86)は「男は兵隊に行き、家に残ったのは女子どもだけだったが、米はみんな兵隊に送り、食べるものは何もなかった。勝っても負けても戦争はいけん。戦争で幸せになる人はない」と力を込めました。